

お住いの最後まで(解体工事)お世話させていただきました。



近年不動産の相談をいただくようになって、空き家になった住まいの解体までご依頼をいただくことが増えてきました。先日解体させていただいた現場は本社の近所で、新築時(私も高校生の時便槽を埋めるアルバイトをしました)以来長年にわたって、水回りの修理やリフォームなどご用命いただいた、弊社にとっても愛着のあるお住まいです。この住宅の最後の仕事となる解体工事までご用命いただけることに感謝することは勿論のことですが、反面、この住宅に関わることが無くなることに寂しさもひとしおです。(啓)



<年末年始のお休みについて>

12月29日(火)~1月5日(水)

までお休みさせていただきます。

新年1月6日(木)より通常営業いたします。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

あとがき

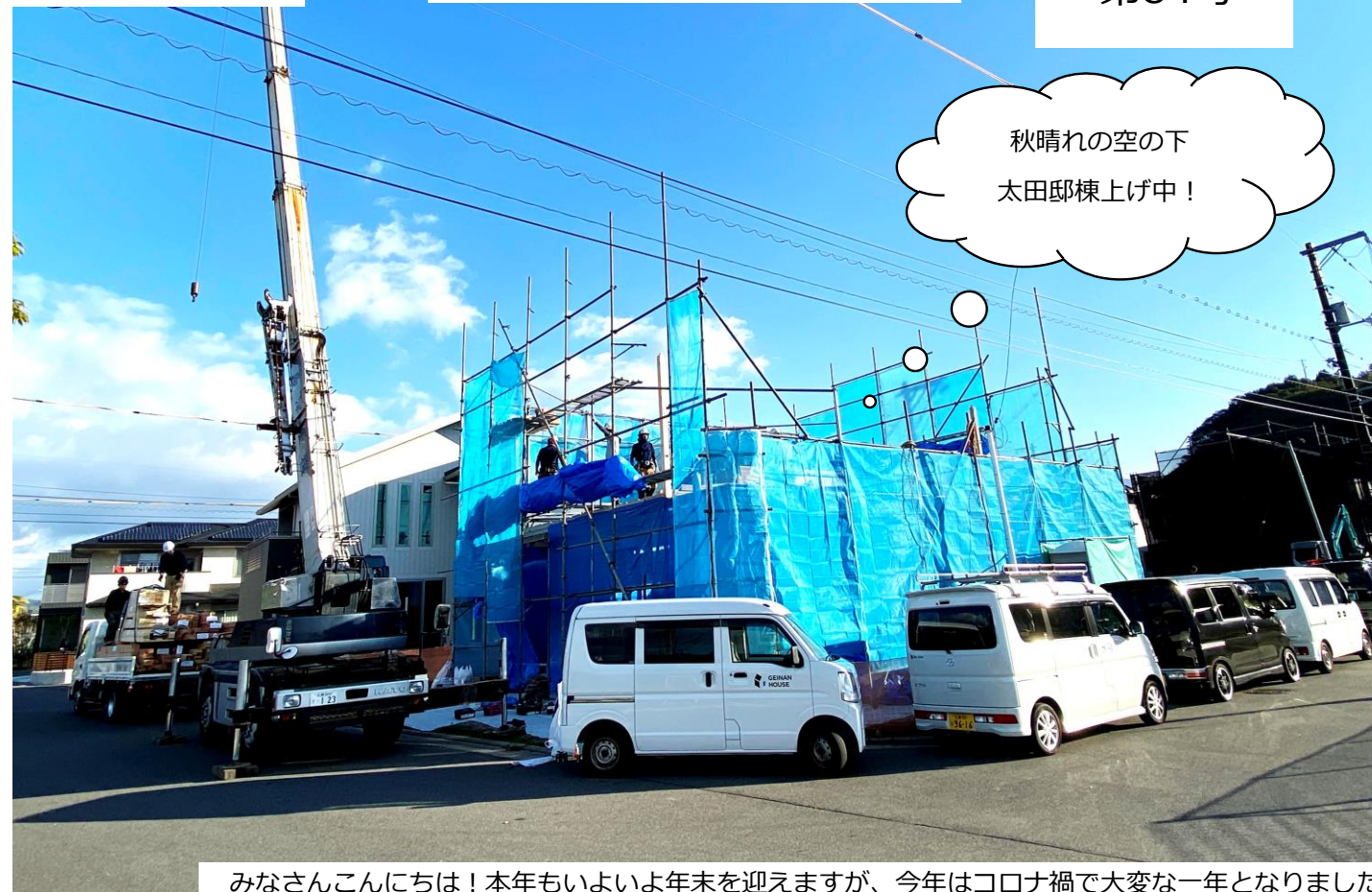
早いもので今年も余すところ後少しとなりました。お陰様で、スタッフ一同全員元気に新年を迎えることができそうです。来年度4月からは新卒の新入社員の入社も決まり、また若々しい新しい顔ぶれが揃うこととなります。会社説明会で、わが社のスローガン「住まいの“困った”を“良かった”に！」を気に入って弊社を希望してくれたとの事ですので、きっとわが社の社風に染まり、皆様方にも可愛がっていただける人材だと期待しております。

コロナ禍の中での新年を迎えることとなりますが、皆様方におかれましては、風邪など引かれぬようお気を付けいただき、良いお年をお迎えください。最後になりますが、本年一年お世話になりましたこと厚く御礼申し上げます。来年もスタッフ一同、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和2年12月吉日

河野 啓一

「住いの困った」は ゲイナンハウス 大竹店・廿日市店共に  
フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>  
最後までお読みいただき有難うございました、次回は2月頃の予定です。(啓)  
\*尚、この「住みいる通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。



みなさんこんにちは！本年もいよいよ年末を迎えますが、今年はコロナ禍で大変な一年となりました。3月2日に全国の学校が臨時休校となり、4月7日に緊急事態宣言が出され一旦収束するも、第二波、そしてこの原稿を書いている12月2日は第三波の渦中で、まだまだ拡大の様相ですが、皆さんお変わりございませんでしょうか？



河野

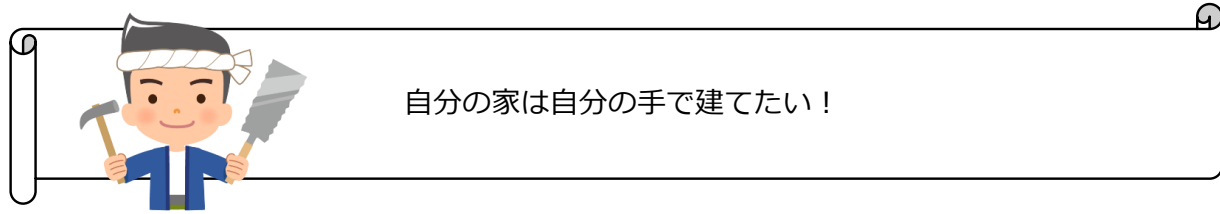
わが社におきましては、皆さまからの厚いご愛顧のお陰でコロナ禍の中ではありますが、これまでのところ例年と変わらぬ業容を保つことができ、偏に皆様方のお陰と感謝申し上げる次第です。今のところ、私共の周りで感染したという話を聞きませんので安堵していますが、気を緩めることなく一人一人がしっかりと感染対策をしたいと思います。

さて、上の写真は本年5月に退職した太田君が広島市に新築している新居の棟上げの写真です。前々回号で太田君が書きましたように、退職後実家の高宮で米作りをしているようですが、米作りのシーズンが終わった10月より広島市に新居をわが社で新築しております。これまで実務で培ってきた経験を生かすべく、自ら設計を行い、現在進行中の大工仕事は本職の大工さんについて厳しい指導を受けながら、施主自ら汗しているようです。聞けば、米作りは10月から3月まではオフシーズンのもので、今年は自分の家の建築に精を出すようですが、次のオフシーズンからはゲイナンハウスでアルバイトをしたいと嬉しいような、都合の良いようなことを言ってくれています。まあ、それだけ愛着を持っていてという事なのでしょう。ですが、現場に行くと相変わらず当社の作業着を着ているので、職人さんたちから「太田さん、ホントに辞めたの？」とからかわられているようです。



本年は本来であれば、創業50周年の大きな節目の年でしたので、その行事などを考えておりましたが、コロナ禍によってすべて中止となりました。何とか年を越しても来年にはやりたいと考えておりますが、今の状況では見通しが全く立たず、何とも中途半端な気持ちで新年を迎えます。前述したようにコロナ禍でも変わらぬ業容を保てたことは、先人からいただいたお客様からの信用という財産のお陰と、感謝の気持ちで新年を迎えたいと思います。皆様におかれましても、良い年をお迎えください。(啓)





自分の家は自分の手で建てたい！

冒頭にご紹介したように、太田君が広島市佐伯区に新居を建築中です。退社前に佐伯区に新築する相談を受けた時、「え？こっちに家を建てて、高宮で農業？」と、太田君は何を考えてるか疑問に思いましたが、彼としては自分の実家のある高宮では過疎化が進み子育てが難しいとの判断でのごとと話してくれました。通勤には1時間程度かかるようですが、新しい形の農家の在り方のようにも思えてきます。

さて、農閑期に入った10月より基礎工事に掛かり、10月22日に上棟し、現在木工事が進行中です。大工さんはこれまででも新築工事をやってもらっている廿日市店長宮本君の同級生。農閑期の太田君は自分の手で建てたいという事で、毎日現場で大工さんにしごかれながら頑張っているようです。少しばかり現場の様子をご紹介します。3月完成予定ですので、完成したらご紹介させていただきます。

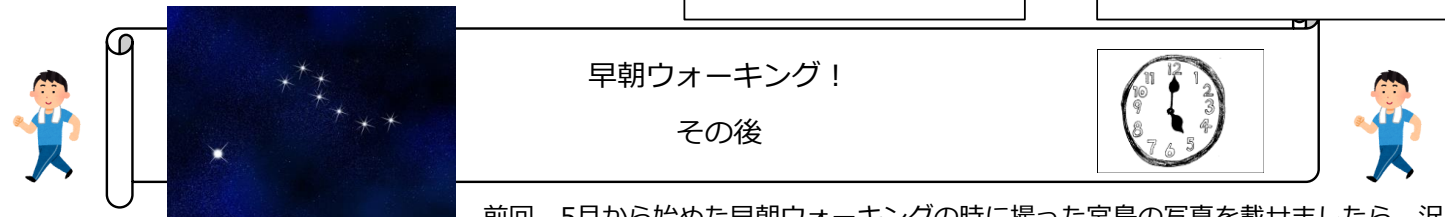


佐伯区と言っても、遠く宮島を望める新興住宅地です。

地鎮祭。執り行うのは日頃よりお世話になっている地御前神社の飯田さんです。

12月上旬。瓦も葺けて、家の外観ができてきました。

施主自ら頑張っています。ですが、高所作業はヘルメット忘れずお願いします。



早朝ウォーキング！

その後

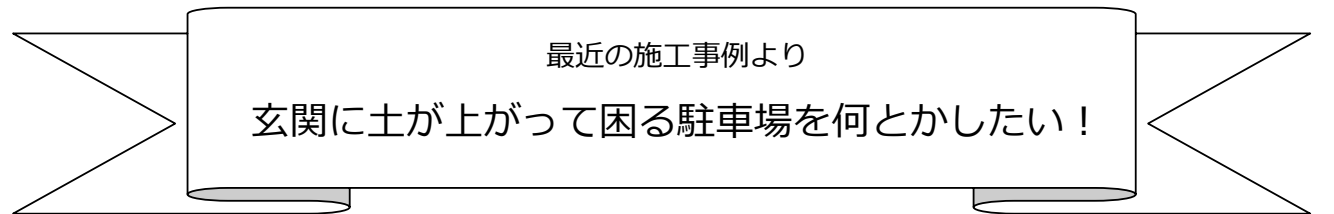
前回、5月から始めた早朝ウォーキングの時に撮った宮島の写真を載せましたら、沢山の方から「きれいだね！」とか「ウォーキング頑張れ！」などのお言葉をいただきありがとうございました。皆様に公言した手前、以後もなんとか継続しております。ですが、この時期の早朝ウォーキングは暗闇を歩くようなもので、毎日きれいな宮島を撮ると言う訳にはいきません。でも、星空を眺めながら歩くのも良いもので、北には北斗七星、西にはオリオン座を楽しむことができます。北の空に淡く輝く北極星を見ると、200年以上も前に商売を成功させ50歳で家督を息子に譲り日本地図を作った伊能忠敬に思いを馳せます。73歳で亡くなるまで、日本地図の作成に情熱を傾け、日本人で初めて北極星を基準に地球の大きさを測った生き様を思うと、先日64歳になったばかりの私としては北極星を見て背筋を伸ばす次第です。さて、肝心の血圧の方ですが、残念ながら外気温が下がるにつれて上がり気味になってきています。と言う事は、ウォーキングをしたことで血圧が下がったのではなく、気温が上がったからだと言う事になりそうです(笑)。

まあ、折角始めたことですので体にも良いことですから続けてみます。左の写真は、日曜日に遅く出発して撮った写真です。

次号では元旦の日の出をご紹介したいと思います。(啓)



11月15日 7:05  
日の出の位置が、宮島から離れて随分と南に移動しました。冬至の時は、どのあたりまで移動するか楽しみです。



今回の施工事例は、実は我が家の施工事例です。“紺屋の白袴”と言われるように、自宅のこととなると必要の順位の低い事にはなかなか重い腰を上げずに40年以上参りました。駐車場から玄関に土が上がらないように整備してほしいとの要望に、図面に書くこと4回、予算とのすり合わせの結果計画がまとまった次第です。

折角の機会ですので、施工の進行をご紹介します。



着工前(これから地面を掘ります)

駐車場の施工では土間をコンクリートやアスファルトで仕上げたり、歩道などで使われているインターロッキングと言うブロックで仕上げたりします。今回は、駐車部分はコンクリート・アプローチ部分はインターロッキングで仕上げることとしました。

コンクリートで仕上げる場合の方法は、碎石を厚み10cm程度その上にコンクリートを10cm程度の2層となります。コンクリートはひび割れが起こりにくいように、ワイヤーメッシュと言う6ミリ径の鋼材を格子状にしたものをコンクリートの中に入れて施工します。

インターロッキングでは、車が乗る部分はコンクリート仕上げ同様碎石10cmコンクリート10cm施工の上にインターロッキングを施工します。ですので、深いところでは地面から約30cm地面を取り除くことから始まります。



20cm床掘をして、10cm碎石を入れているところ



手前側は、下地コンクリート10cmの上にインターロッキング施工します



タイヤの所だけコンクリートで仕上げるので、型枠を立てています



インターロッキング施工の後、駐車部をコンクリートで仕上げます。半面コンクリートを仕上げた所です。



取り合えずの完成 (左側の土の部分に芝生の植栽予定)

着工から完成まで、途中生コンの予約が取れなかったこともあり、予定よりも1週間あまり伸びて、3週間余りかかってしまいました。出来栄をご覧になっていかがでしょうか？本当の完成は、春にならないと芝を植えられないので来春ですが、これは自分でやらなくてはですね！(啓)